

平成28年11月10日

松阪市議会議長
西村友志様

報告書

海住恒幸

10月30日に名古屋市で開催されたアドバンス政策研究会に参加しましたのでご報告します。今年度は、5月（5月29日）と10月の2回の参加で完結する研究会です。5月は待機児童の現状など保育行政についてで、今回は「子どもをまるごと支援するために議員としてできること」でした。

開催日時 10月30日（日曜日）午前9時30分～午後3時15分

会場 ウイルあいち（名古屋市・地下鉄名城線市役所駅下車）

主催 む・シネット（無党派・市民派女性議員のネットワーク）

参加者 9人（わたし以外は女性議員。愛知県や福井県、大阪府、兵庫県、香川県、北海道の市町の議員）

研究会の内容 この研究会は、政党に所属せず、市民派として活動しているおもに当選3～5期目の議員を対象とするものです。平成27年度は3回、28年度は2回の開催がありました。28年度は今回で完結です。

午前中は、受講生各自がうまくいったと思える一般質問を持ち寄って質問力等、課題を掘り下げるものです。一人15分程度。午後は、事前に参加各議員の自治体ごとの子ども政策について状況を把握し報告してあったものを一覧化された資料をもとに比較分析を実施する内容でした。

午前（9時30分～12時30分） 一般質問

自分の一般質問によって獲得すべき目標と実際をどう評価するかという点で、事前にテーマや目標、質問・答弁の要旨、反省点、今後の課題についてレポートを提出した上で研究会に参加しています。

午後（1時15分～3時15分）

テーマ 「子どもをまるごと支援するために議員としてできること」

自治体間の違い、足りない部分について意見交換、先進事例報告、総括子ども支援（貧困対策・障がい・家庭環境・こころ・進学・就労・健康等）の各分野の個別施策において、参加者の自治体間の比較をおこなったところであるが、松阪市は、足りていないというよりも、手つかずの項目が目立った。

（所感）

- （1） 午前 一般質問の成功例、失敗例のいずれでも提出可能で、わたしは成功例を挙げたが、質問の設定において何を得たいか（どのような答えを引き出したいか）の詰めが十分ではなかったことを再認識している。12月定例会においては再度、十分な検討を行わなければならない。
- （2） 午後 事前調査において、個別分野がさまざまな部・課にまたがっており、総合的に情報が把握されていないため、行政としてトータルな政策評価がしにくくいのではないかと。市として、子育て施策を高めることの必要性が語られつつ、目指すべき水準はどこにあるのか、日ごろの取り組みの中では具体的にないのではないかと。取り組み姿勢がほんものであれば、部と部を超えた「局」の設置の意義も見えてくるものと思われる。

以上